

施 工 要 領 書

(人口芝生デビロン#118)

【使用上の注意】

※本製品は目砂を充填することを前提に設計されております。

施工の際には必ず規定量の砂を充填の上ご利用くださいますようお願いいた
だきたく宜しくお願い申し上げます。

- ・ 施工手順
- ・ 主要遊具敷設一覧
- ・ 平面図・断面図
- ・ アンカー打込み位置図
- ・ 施工手順写真
- ・ 施工事例写真

人口芝生 **デビロン**

阪和工業株式会社

阪神事務所

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町4番20号

TEL : 0798-62-1555 FAX : 0798-62-1556

施工上の注意事項

～人口芝生デビロンを正しくご利用いただく為に～

製品の敷設方向

◎方向性のある遊具（例えばブランコ）等は振り方向が帯方向とします（＃118・＃260）。

地盤

◎平滑で締まった土の地盤とします。

砂の地盤には不向き。砂地盤に施工の際は地盤改良を必要とします。

◎客土、盛り土した地盤にはプレートなどで十分に転圧し固めます。

◎アンカー（Uクイ）の打込みテストをし、指でつまんで引き抜いたときに抵抗なく抜ける様なら地盤の改良が必要です。

アンカー（Uクイ）打ち（アンカー位置図を参照して下さい）

◎必ず指定の位置に規定の本数を打つこと。指定位置に打てない場合は付近に打つか、余分に打ちます。

◎アンカー（Uクイ）打ちは基盤に当たる所で止めて、打ち過ぎや打たな過ぎに注意します。

アンカー（Uクイ）の上部が基盤より上に出ない様にします。

◎アンカー（Uクイ）は手で引き抜いても容易に抜けない状態とします。

◎アンカー（Uクイ）の効きが甘い場合には地盤改良をして下さい。

水締め

◎水締めは霧状でたっぷり（概ね 20ℓ/m²）撒き、砂を締めるとともに葉片を開かせます。

※砂の充填や水締めが充分でないと砂が沈み浅くなるので注意してください。

（水締め後に砂が少ない場合には必ず補充してください。）

仕上葉片の出具合

◎水締め完了後で葉片が GL から 1 cm 程度出た状態が好いです。

デビロン端部の収まり

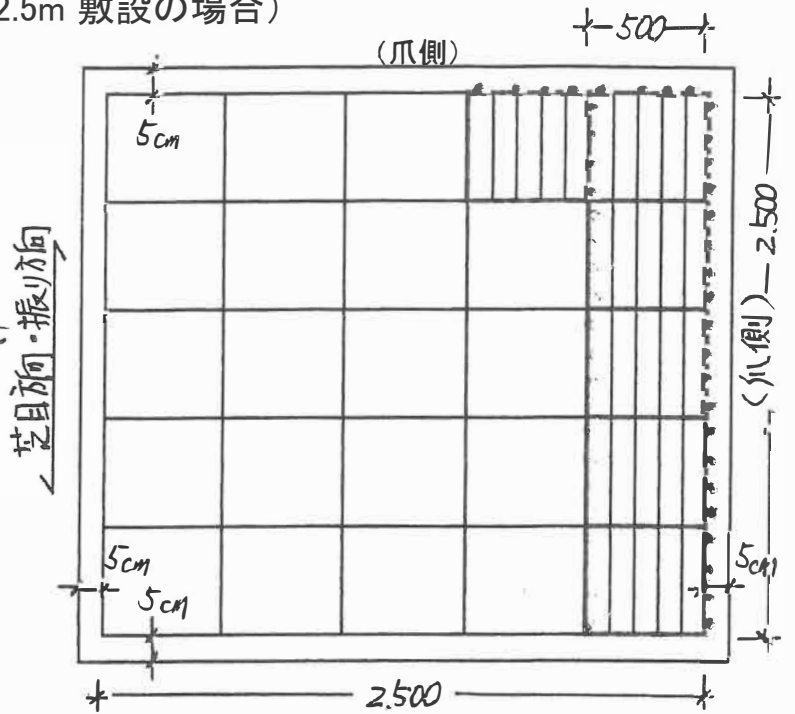
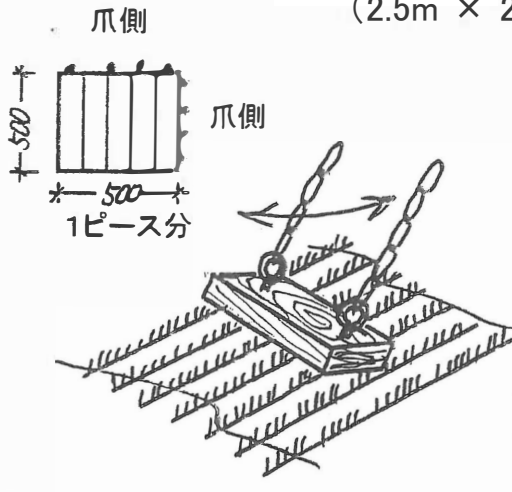
◎デビロン敷設部の周囲が土やせ（流失）してデビロン端部の基盤が露出する場合には必ず客土補充して基盤部を埋設して下さい。基盤部が露出した状態で繰り返し踏まれますと破損します。

☆目砂の流失や周囲被覆土の流失による基盤部の露出が発見された場合には必ず目砂の補充、被覆土の復元作業を行ってください。基盤部の露出がない限りメンテナンスフリーで長く性能を維持いたします。

☆上記注意事項を必ず厳守し施工して下さい。

#118タイプ施工手順

(2.5m × 2.5m 敷設の場合)



① 墨だし

敷設サイズより、上下左右それぞれ、約5cmずつ広めにスキ取りラインを書く。

② 下地造り

真砂土地盤を深さ2.5cm~3cmスキ取る。

③ 製品を並べる

※芝目方向を必ず確認して下さい。

プランコなら振り方向側に芝目方向を向け平行に並べる。

爪側を確認し、並べ始めの端を爪側が外に向くよう置き、順次、連結のメスに爪をはめ込んで並べる。

④ アンカークイ打ち

製品を全面にはめ込み、並べ終わったら、アンカークイをクイ位置(クイ位置図参照)に、それぞれ立てて、カナヅチにて打ち込む。打ち込みは基盤の棧にあたるまで打つ。※製品を持ち上げても動かないように固定する。

⑤ 砂入れ

アンカークイを打ち終わったら、周囲5cmのスキ取りした所を真砂土で埋め戻す次に製品へ砂を投げ入れながらトンボやレーキでこすり入れる。

※砂入れはスコップ等で芝目に沿って、投げ入れるように入ると入り易いです。※砂の量は芝生の頭が見えるぐらいが適量です。

⑥ 散水・芝生葉片開き

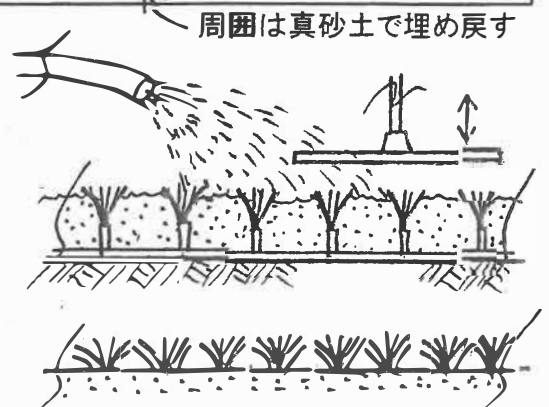
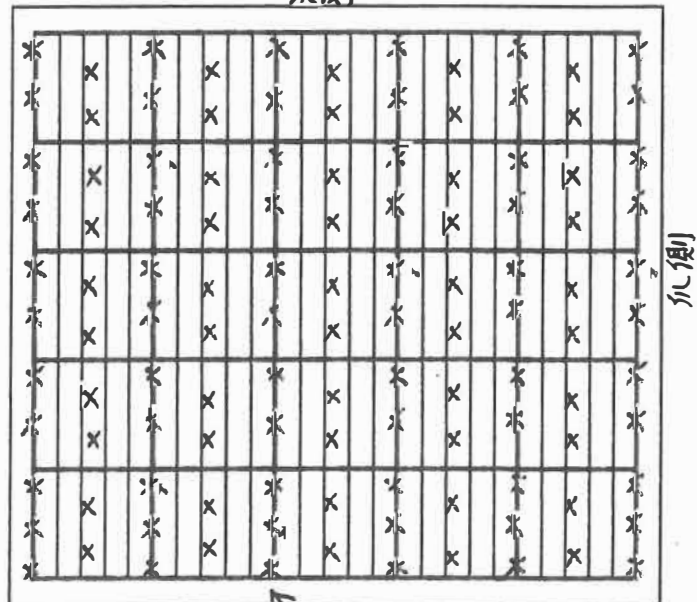
砂を均一に入れ終わったら(芝生の頭が見える程度の状態)水を霧状にて、まんべんなく砂を沈めるように撒く。濡れている状態で上から芝生葉片をレーキなどで叩く。※上から叩く事によって芝生葉片が広がります。

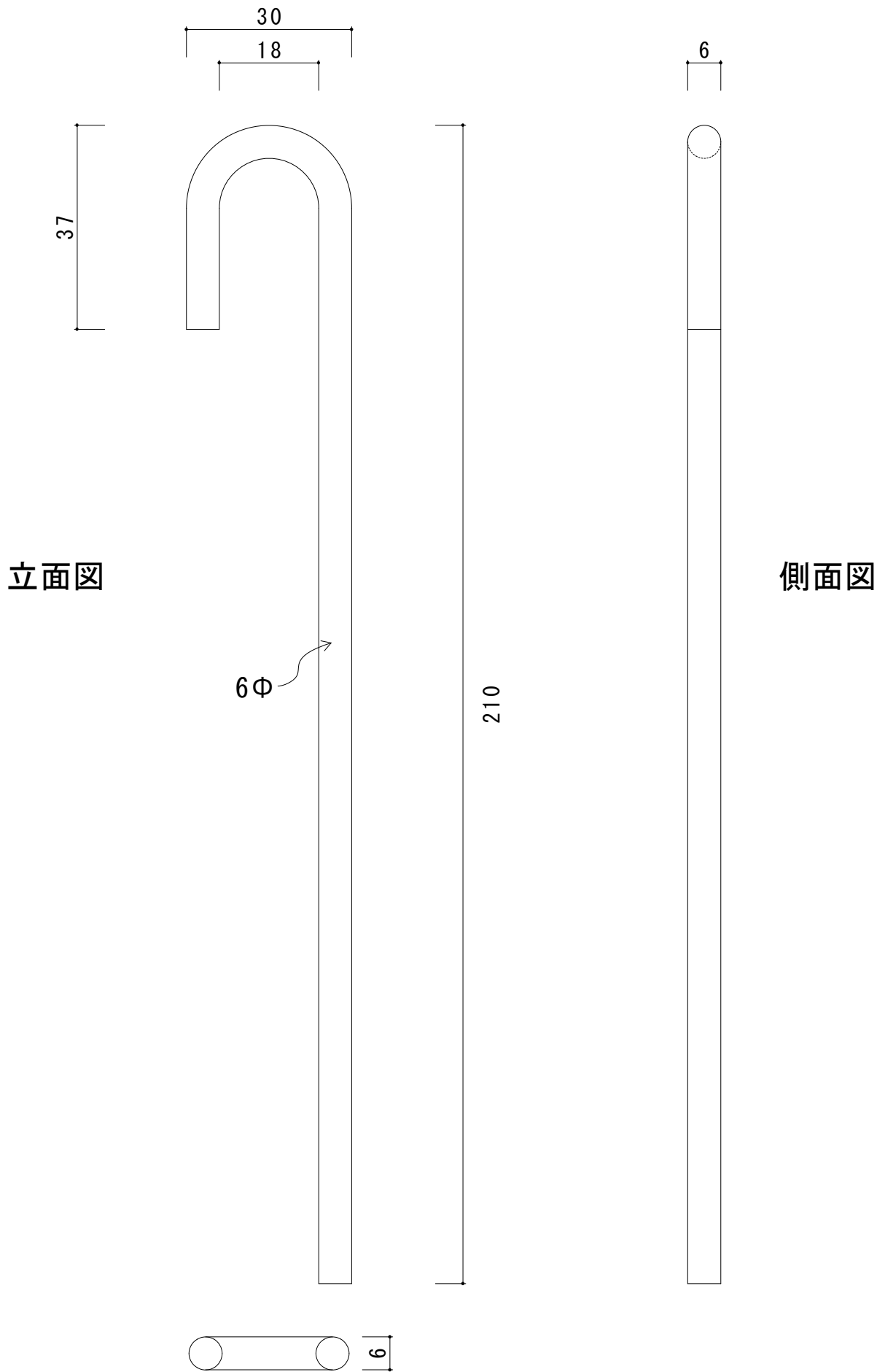
⑦ 仕上げ・整地

砂の量を確認して補充や取り出しを行う。砂地をトンボ等でならし整地する。※砂地から芝生が15mm前後出ている状態が理想です。

⑧ 完了

アンカークイ位置(参考)
爪側

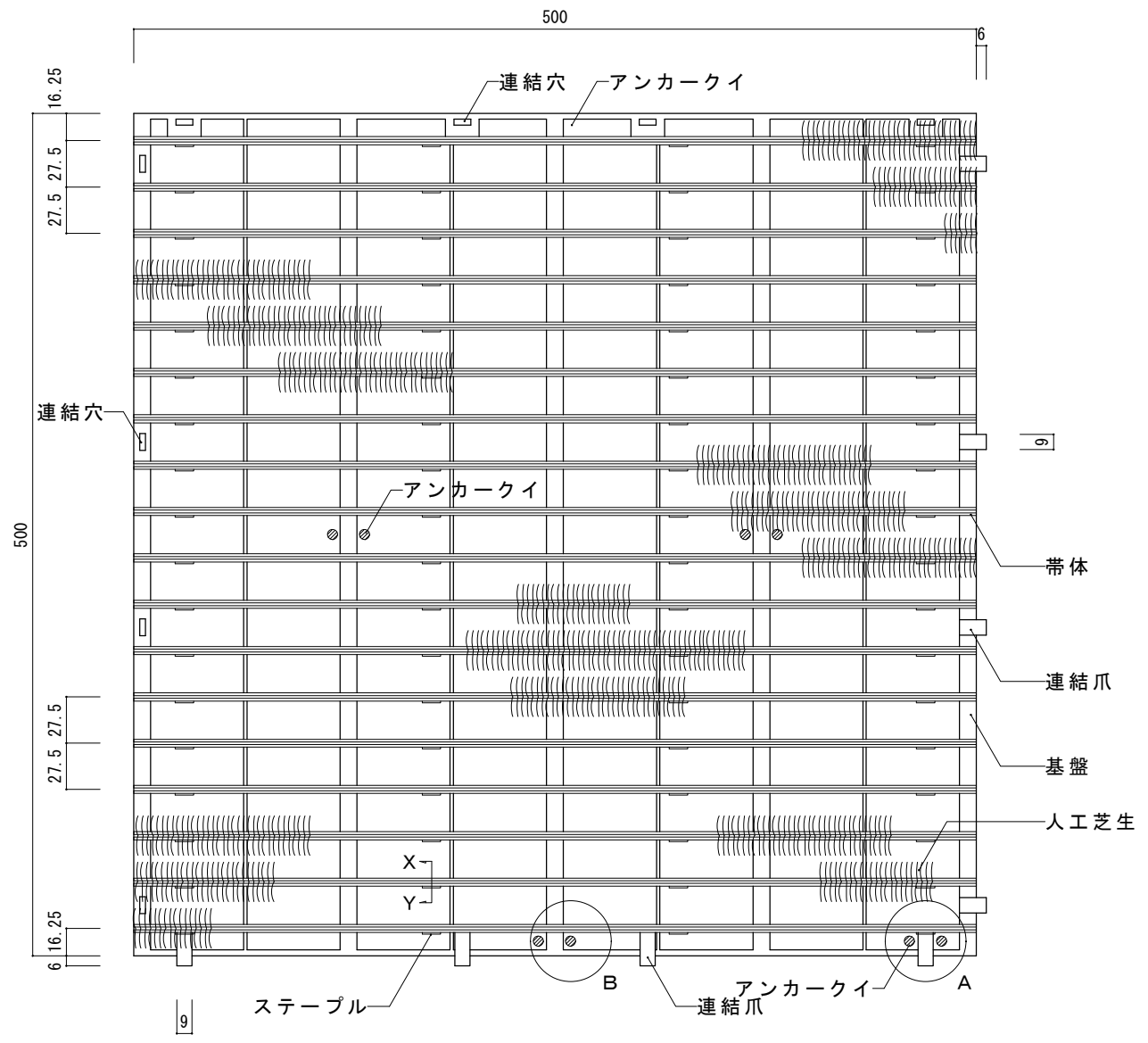




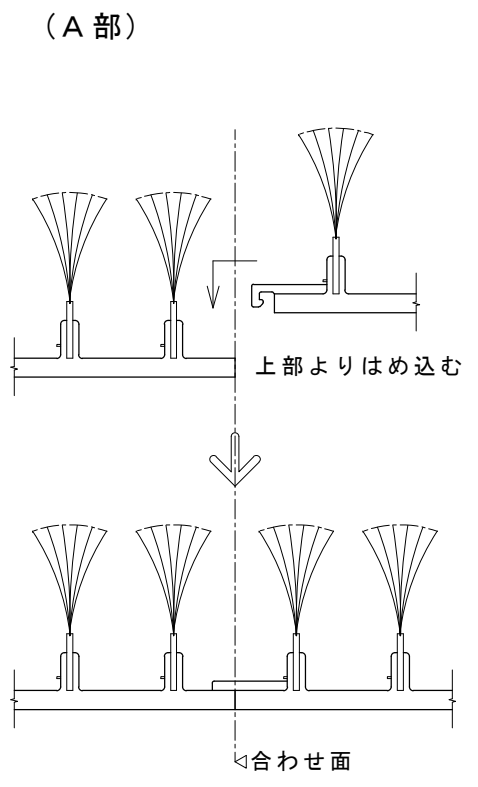
<材質>SWM軟鋼鉄線

デビロン#118 アンカークイ図

平面図 S=1/4

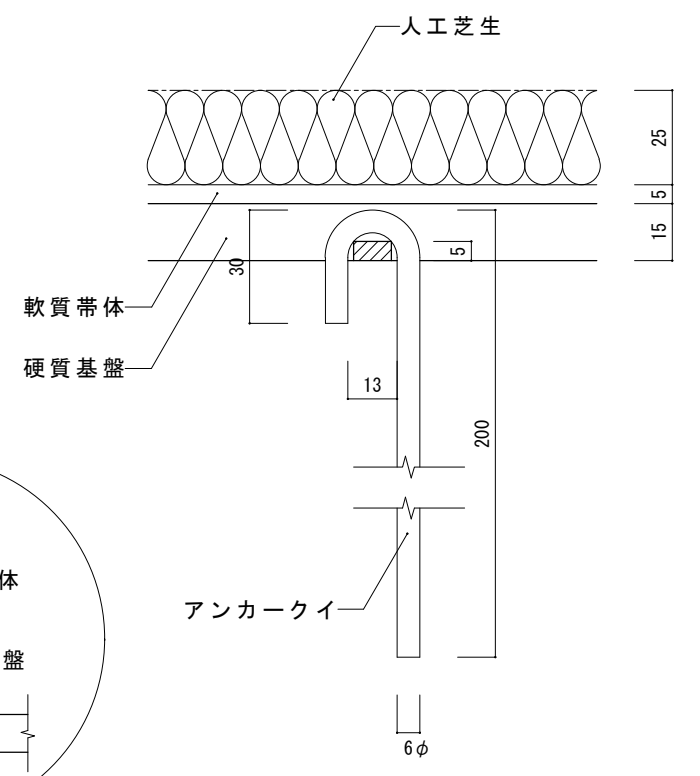


連結方法 S=1/2

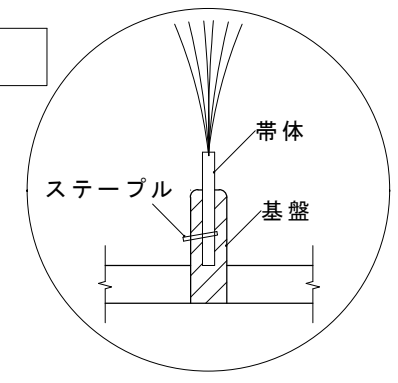


1.0㎡当り				
名称	形状寸法	単位	数量	適要
本体		㎡	1.0	
据付手間		人		
掘削		㎡	0.03	
砂	荒目	㎡	0.03	
残土処分		㎡	0.03	

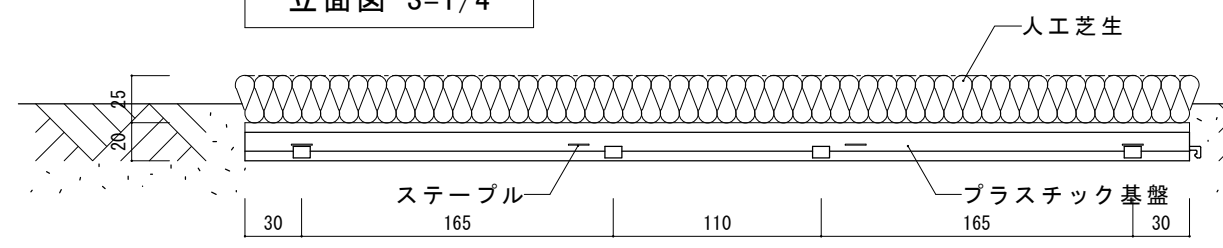
B部詳細図 S=1/2



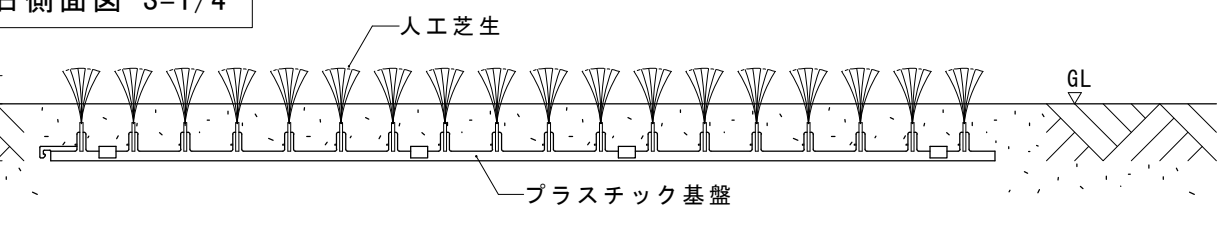
X-Y断面図



立面図 S=1/4



右側面図 S=1/4

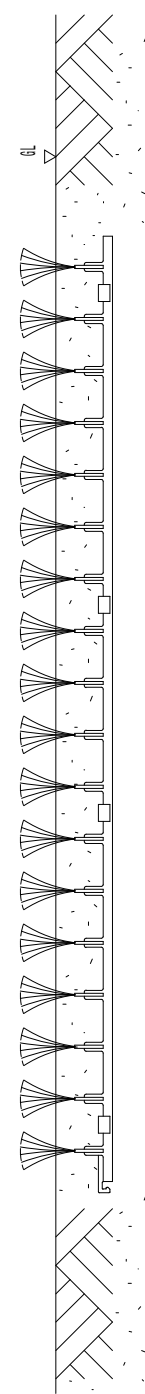
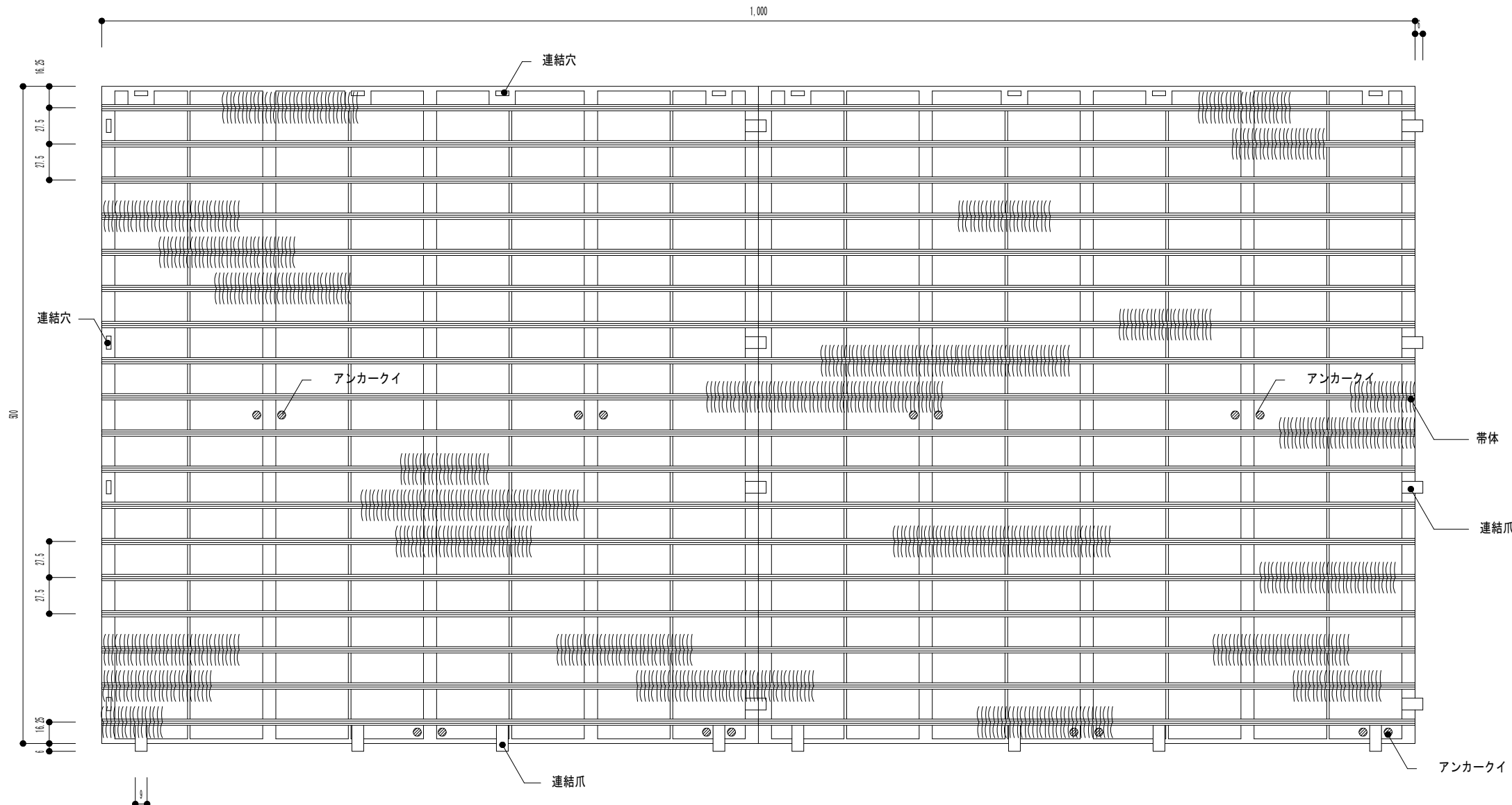


- ・ 1ピース・・・500x500x45H mm
- ・ パイル長・・・25mm
- ・ 基盤と帯体の接合・・・接着及びステープル止め
- ・ 芝生葉片・・・ナイロン糸
- ・ 帯体・・・軟質ビニール(ウェルダー加工)
- ・ 基盤・・・硬質ABS樹脂

品名	デビロン	品番	#118S
製作	阪和工業株式会社		

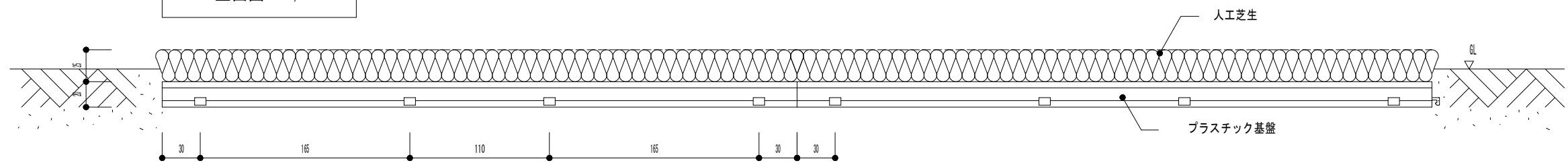
平面図 S=1/4

A1→A3 縮小



右側面図 S=1/4

立面図 S=1/4



1.0m₂当り

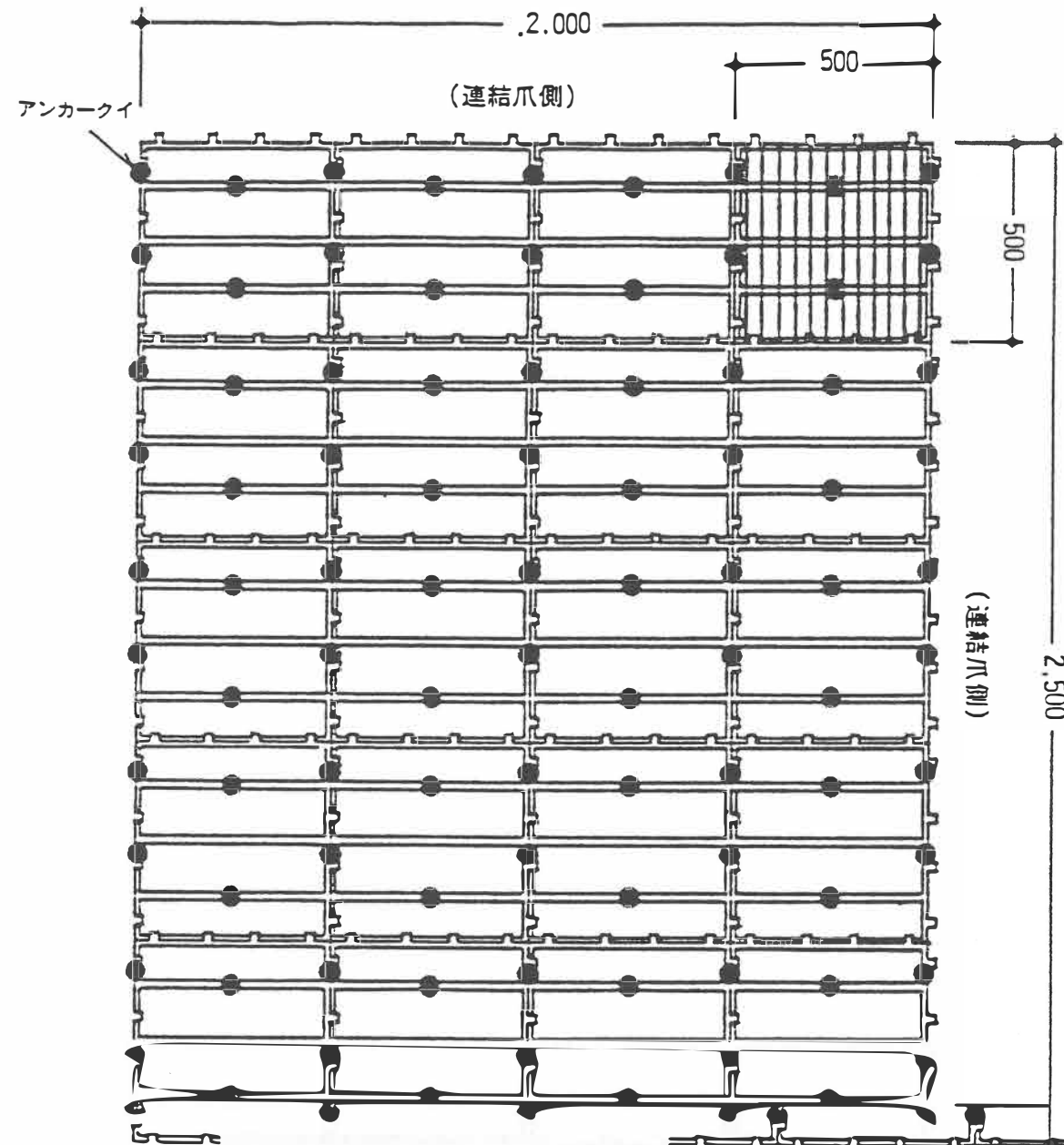
- ・ 1ピース・・・1000x500x45H mm
- ・ パイル長・・・25mm
- ・ 芝生葉片・・・ナイロン糸
- ・ 帯体・・・軟質ビニール
- ・ 基盤・・・硬質ABS樹脂

名称	単位	数量	適要	名称	単位	数量	適要
本体	m ₂	1.0		残土処分	m ₂	0.030	
据付手間	人	0.1人		真砂土	m ₂	0.005	
掘削	m ₂	0.030					
砂	m ₂	0.030					

品名	デビロン	品番	#118M
製作	阪和工業株式会社		

(Sサイズ)アンカー位置図

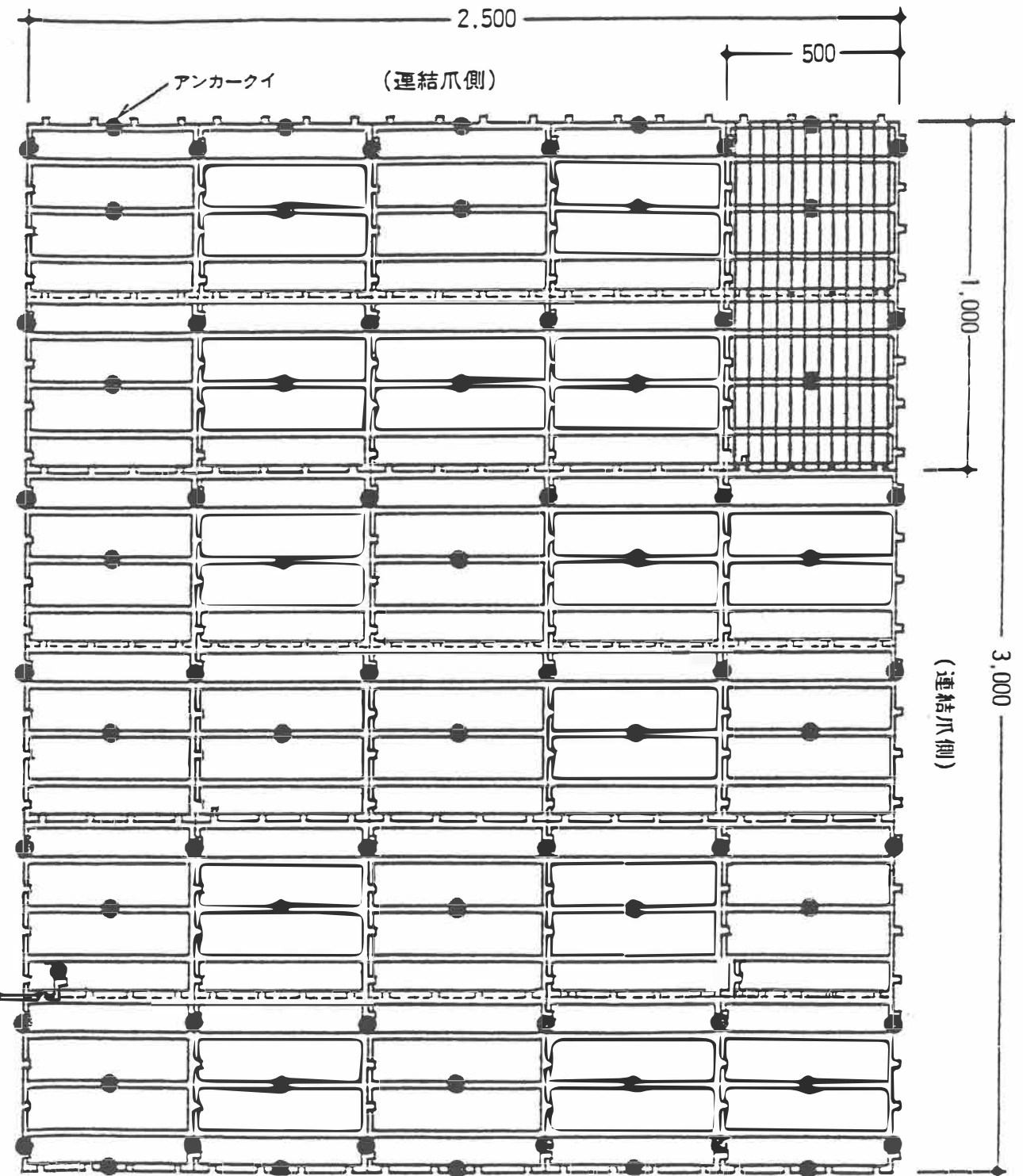
1ピース…500×500サイズ



(参考例5㎡) アンカー使用本数 95本

(Mサイズ)アンカー位置図

1ピース…500×1,000サイズ



(参考例7.5㎡) アンカー使用本数 82本

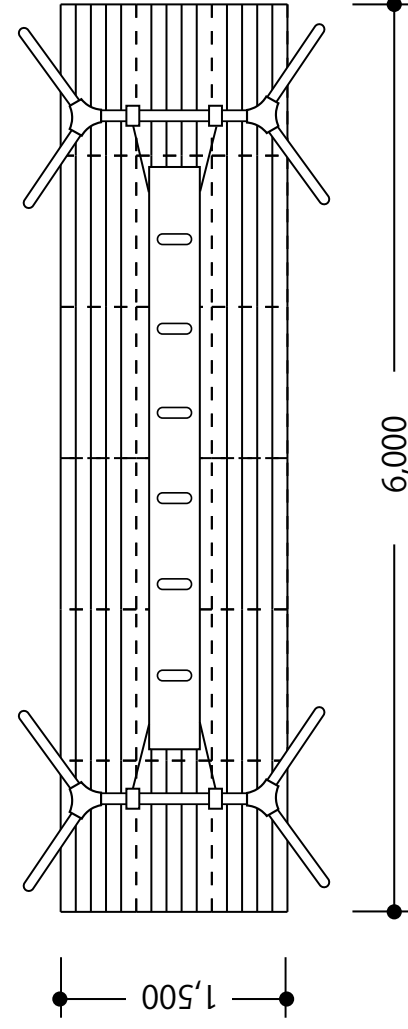
※アンカークイの位置及び本数については、敷設状況により、多少変更する場合があります。

デビロン #118タイプ

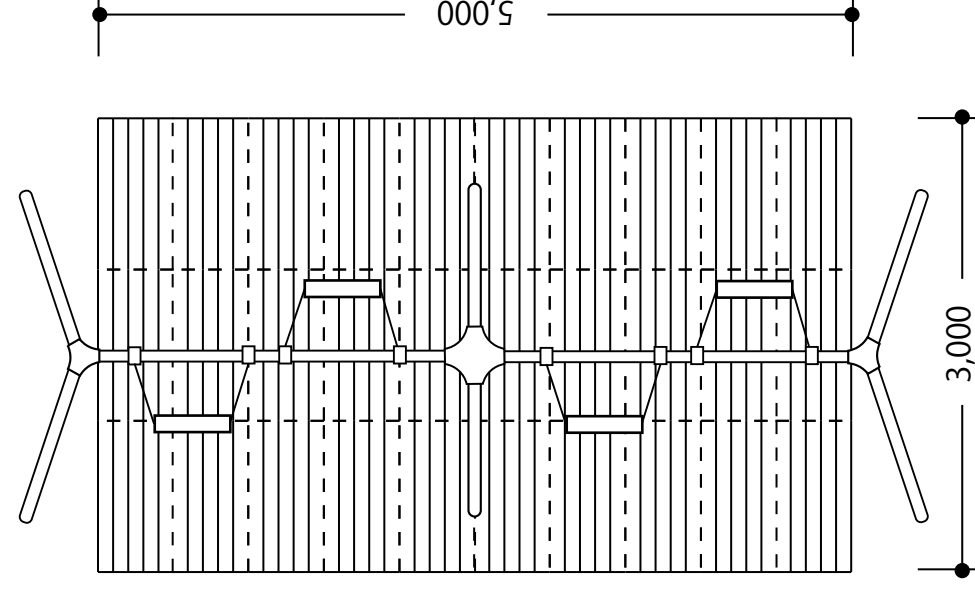
アンカークイ位置参照図

阪和工業株式会社

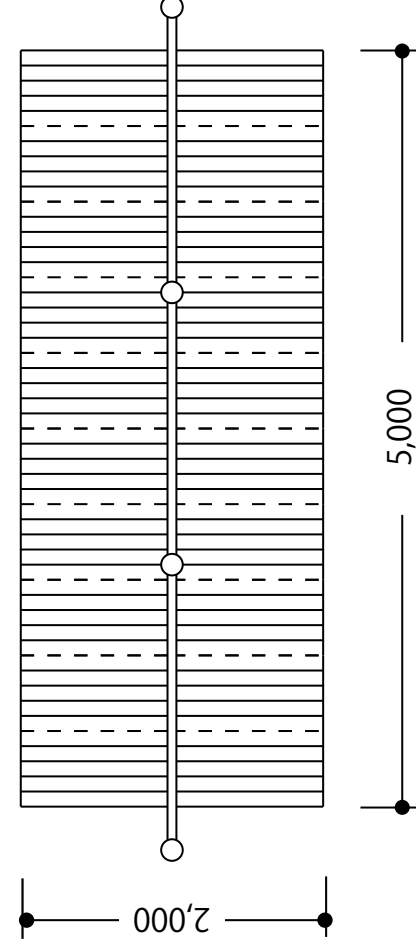
遊動円木 (9 m²)



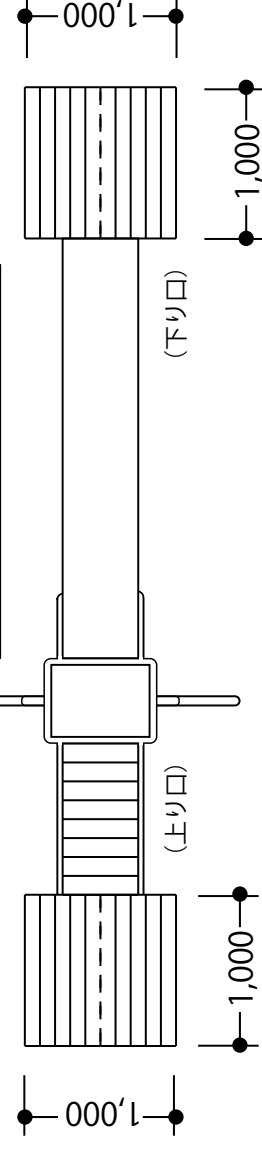
4連ブランコ (15 m²)



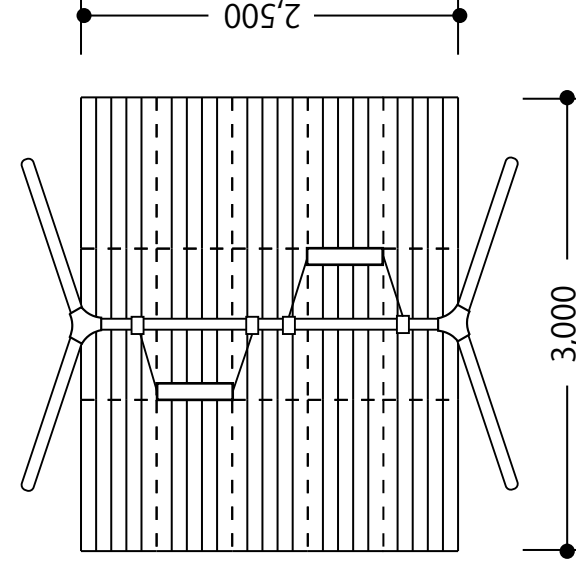
3ラン低鉄棒 (10 m²)



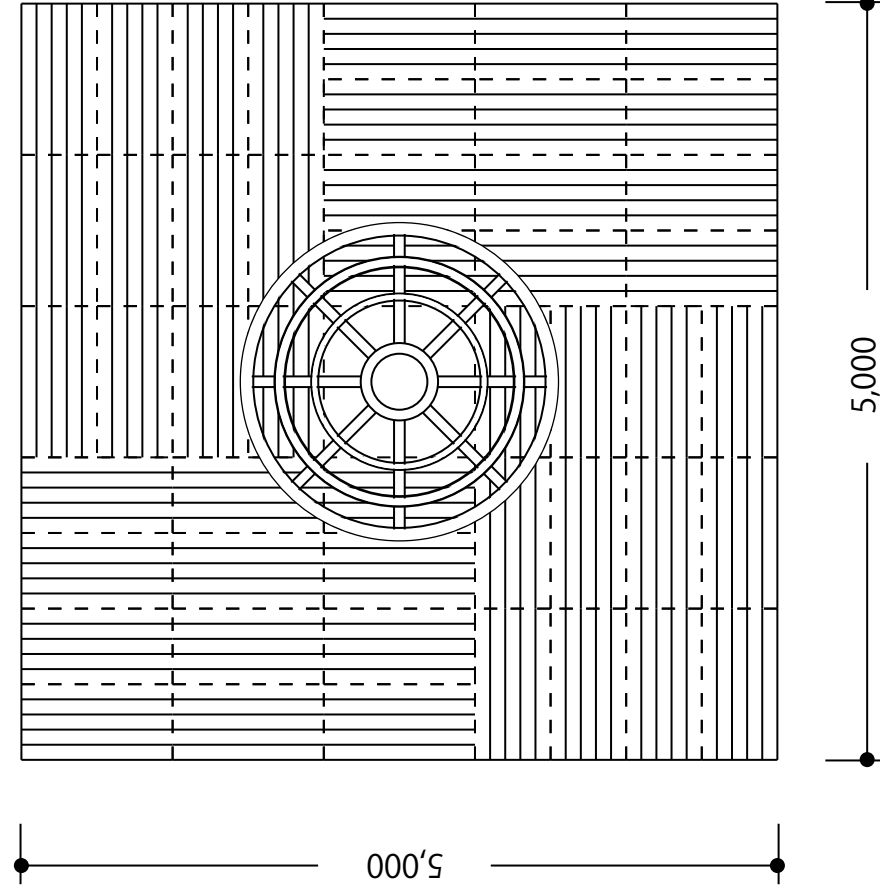
スベリ台 (各1 m²)



2連ブランコ (7.5 m²)



衛生ジャングルジム (24 m²)



ベンチブランコ (7.5 m²)

